

金属の腐食・防食のお悩み解消します！

腐食試験機を活用したものづくり支援

- 二酸化硫黄(亜硫酸)ガスや海塩粒子(海水ミスト)に対応した腐食試験
- 腐食試験方法の選択から試験結果後の対応までサポート
- 耐食性向上を目指した研究開発支援

研究目的・内容

金属の腐食は、曝露環境によって激しさが異なります。例えば、大気環境の腐食では、温度・湿度・大気汚染物質などに強く影響を受けます。このため、特定の腐食性因子を強調した腐食促進試験が耐食性評価法としてよく用いられています。しかし、試験の選択を誤ると実使用環境での腐食形態とは異なる結果になりかねないため、試験を選択することやその結果を判断することは一般的に難しいです。当研究所では、腐食防食専門研究員がこのようなお悩みの相談に対応しています。更に、腐食原因を考察することで、新規材料開発や表面処理改良につなげる研究体制も整っています。ぜひ一度ご相談下さい。

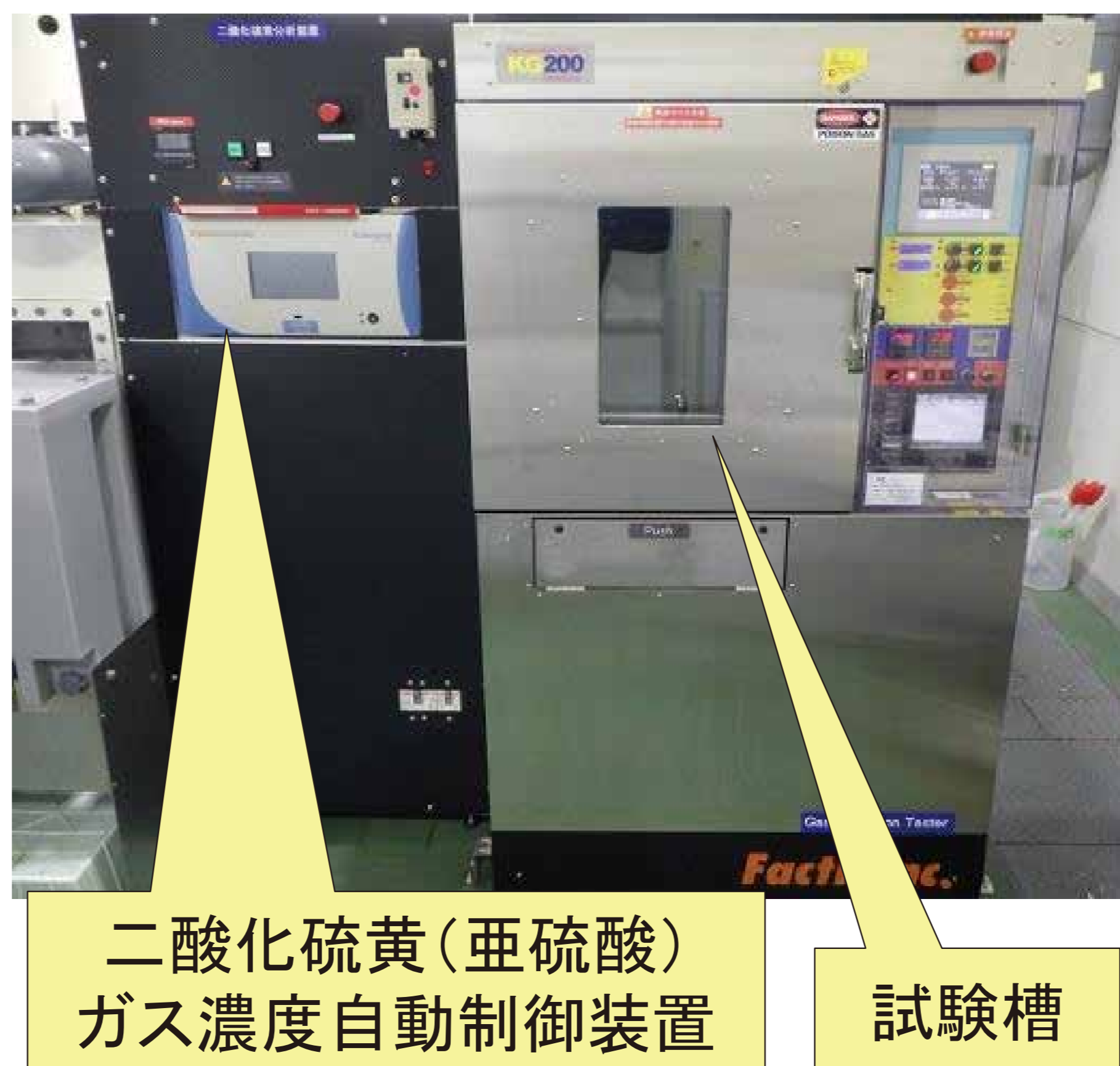
期待される用途

- ・「バッチ式 二酸化硫黄(亜硫酸)ガス腐食試験機」※1→テクニカルシートNo.19-01
- ・「連続フロー式 二酸化硫黄(亜硫酸)ガス腐食試験機」※2→テクニカルシートNo.20-15
- ・「湿潤試験機」※3の他、「塩水噴霧試験機」「複合サイクル試験機」「キャス試験機」など

※1：DIN 50018 対応 ※2：JIS C 60068-2-42、JIS H 8502 対応 ※3：JIS K 2246、JIS K 5600-7-2 対応



バッチ式 二酸化硫黄
(亜硫酸)ガス腐食試験機



二酸化硫黄(亜硫酸)
ガス濃度自動制御装置

試験槽

連続フロー式 二酸化硫黄
(亜硫酸)ガス腐食試験機



湿潤試験機

キーワード

金属材料、表面処理、耐食性試験、ガス腐食試験、塩水噴霧試験

大阪産業技術研究所

金属表面処理研究部 (和泉センター)

佐谷 真那実、岩田 孝二、左藤 眞市

連絡先：和泉センター技術相談窓口 izumi2525@orist.jp

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



12 つくる責任
つかう責任

